

春の花植え活動 <地元密着型奉仕事業>

【2019. 3. 15 (金)】

3月15日(金)晴天の下、集合時刻の13:30には八王子市立第四小学校の校庭に会員6名と事務局の合計7名が揃いました。

2年目を迎えた「地元密着型奉仕事業 花植え活動」は年間3回実施され、昨年の10月に続いて今年度2回目で「春の花」植えとなります。参加者は地元明神町クラブの方と四小の5年生の生徒さん、先生方で、東放射線アイロードの街路樹の根元に花を植えて飾ろうというものです。

この通りを行き交う方々の目を楽しませ心を和ませる美しい街づくりができていますと自負しています。花植や肥料、水やりの方法を教えながら子どもたちと触れ合っていると1時間半があっという間に過ぎてしまいます。

今年度3回目は6月下旬で、「夏の花」で飾ります。より多くのRC会員が参加して、子どもたちとの交流を楽しんでいただきたいと願っています。



フードドライブ

【2019. 5. 30 (火)】

5月30日の八王子RCとの合同例会で、子ども食堂の活動をされている昭島中央RC会長の佐々木氏をお招きしご講演頂くとともに、フードドライブを実施しました。110kgを超える食材が集まり、フードバンクTAMAを通じ

児童施設、子ども食堂など必要とされる方々にお渡しすることが出来ました。

皆様のご協力に感謝するとともに、継続してこのような活動をしたいと存じます。一層のご理解ご協力をお願いします。



卓話・東京昭島中央 RC 佐々木稔郎会長



謝辞・東京八王子南 RC 神山治之幹事(フードバンク TAMA 理事長)

タイ学校トイレ改修事業報告

【2019.6.22(土)～25(水)】

(1) 当クラブの国際奉仕事業のひとつであるタイにおける公立学校のトイレ改修事業を視察するため、水長幹事、加藤会員とともに6月22日から6月25日の間タイを訪問した。



6月22日(土)夕方バンコク着、6月23日(日)はアユタヤと水上マーケット観光、24日(月)からの現地訪問に備えた。



(2) 6月24日(月)、世田谷RCのメンバーとスワンナブーム空港で会い一緒にコンケンに向かった。12時少し前コンケンに着いた。この日はコンケンの7校を訪問予定であったがスタートより1時間遅れ、7校目の訪問は不可能なので最後の1校に申し訳ないが伺えない旨連絡して頂いた。そして順次4校を訪れたが、時間的に廻りきれないので、後の2校は、世田谷RCと当方で手分けして訪問することとし、当方は5校目、

世田谷RCは6校目を訪問した。コンケンのホテルにたどり着いたのが17時30分頃、シャワーを浴び19時からのコンケンミットラプRCとの夕食会に参加した。このクラブは女性だけのクラブで40名以上の会員がいるとのこと。コンケンにはRCが4つあるが、このクラブのみが女性だけ、その他のクラブは男性会員もいるとの話、女性のパワーに圧倒された。



(3) 6月25日(火)、朝7時にコンケンのホテルを発って車中で朝食をとりながら、ウドンタニに向かった。今日は3校訪問予定であったが、時間の関係より最初の学校でのセレモニーの後、世田谷RCと手分けして残り2校を廻ることとした。最初の学校は小学校、皆集会場で待っていてくれた。しかし挨拶が続き退屈している様子であったの



で、世田谷RCの矢作会員が歌の交換を提案し、我々が「我らの業」を歌い、次に子どもたちが歌って踊った。我々も踊りに参加し、楽しいひと時を過ごすことが出来た。その後もう1校訪問したあと、ウドンタニ13時15分発の便でバンコクに着き、買い物をした後20時55分発のJAL便に乗り翌朝6時過ぎに羽田に帰った。



(4) 2日間でコンケン、ウドンタニの9校を訪れるというハードスケジュール、昨年と同様現地でゆっくり過ごす時間もなく、ただただ忙しくかけ廻った。今度行くチャンスがあれば、もう少し時間をとりこの趣ある地方都市を訪ねてみたい。今回もいずれの

学校でも子ども達の歓迎を受け、私達の事業が地元にとって有益な事業であることを再認識した。参加した水長幹事も加藤会員も同じであったと思う。次の機会には多くの会員の皆さんが参加して、是非この様な体験をして頂きたい。

2018-19 カンボジア教師育成支援プロジェクト報告

【2019.6.26(水)～29(土)】

本年度は東京世田谷、渋谷の両クラブを幹事クラブとして2750地区25クラブが参加して同プロジェクトを実施した。当クラブは参加して今年度で7回目である。例年どおりロータリー財団に補助金(GG)を申請等したが、今年度より制度が変更になったため(現地調査の徹底等が必要となった)なかなか認められず、2019年3月申請を断念し、従前の拠出金の積立より資金を捻出した。学期の始まりが9月なので、既に教師2名を派遣しており、もはや辞めることは出来ない状況にあった。幸い繰越金が619万円今年度の各クラブの拠出金が310万円あ

り、これをもって教師派遣及び教材の経費合計836万円を支出することが出来た。

本年度派遣した教師は、カンボジア・クラチェ州小学校教員養成校に算数の教師、プレイベン州小学校教員養成校に理科の教師の各1名であり、その他に現地手配も含め約110万円の教材を提供した。

2018-19年の贈呈式は2019年6月26日(水)～29日(土)、スバリエン教師養成校でクラチェ州、プレイベン州派遣の教師も参加して行われ、現地のTVでも放映された。

贈呈式 スバリエン教師養成校にて

2019.6.27



27

本プロジェクトは今年度で10年目を迎え、地区90クラブ（PBは除く）の内25クラブが参加する地区を代表する国際奉仕事業となった。援助にありがちな単に物を送る建物を建てるなどの援助とは異なり、教師を派遣し、教育そのものを支援するという波及効果の大きい極めて有意義なプロジェクトである。10年を経過し現地プノンペンでも教育大学が設立されるなどカンボジアの教育環境も改善され

つつある。今後はこれに見合った援助の形を考え対応することとして、複数年の計画の下、補助金の申請を行う予定にした。

来年度はGGの申請が認められる様2019年6月に世田谷クラブのメンバーなど現地調査を行い申請への準備をしており、2019-20年度は補助金をもって実施する予定であるので、メンバー各位の一層のご理解ご協力をお願いする次第である。

養成校教官の発表会 スパイリエン教師養成校にて

2019.6.27



31